



2023-2024

KAWANOE WEEKLY

R. 6. 1.23

No. 27



「夏の日」 油彩 谷 晶子



2023-2024年度国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

世界に希望を生み出そう

- 会 長 尾 藤 淳 一
- 幹 事 石 村 榮 一
- 会報委員長 大 久 保 宏 茂
- 例 会 日 毎週火曜日
12:10~13:10
- 例 会 場 四国中央商工会議所
電 話 0896-58-3530
F A X 0896-58-6294
- 事 務 局 四国中央商工会議所
電 話 0896-58-3530

「脱炭素経営に向けた取組みについて」

日 浦 博 基

四国中央市における脱炭素経営に向けた取組みについて少しお話をさせていただきます。

私たちの地元四国中央市は、皆様もご存じのとおり、「パルプ・紙・紙加工品製造業」の製品出荷額においては全国1位であり、多くの紙関連企業が集積しております。

また、四国中央市では、「四国中央市地球温暖化対策実行計画」を公表し、2030年度までに温室効果ガス排出量について、2013年度比で46%削減することを目標に、様々な環境に配慮した取組みが行われていますが、工場では、石炭などの化石燃料を一定量使用せざるを得ない状況にあり、企業にとって二酸化炭素排出量の削減は長期的な経営課題となっております。

2021年には、地元大手製紙会社である、大王製紙(株)、丸住製紙(株)、愛媛製紙(株)の3社と日本政策投資銀行がメンバーとなり、四国中央エリアでの面的なエネルギー転換を検討していくための四国中央市カーボンニュートラル協議会が設立されております。

この協議会では、すでに四国中央市に根差す企業70社に対して意識調査のアンケートを実施されておりますが、そのアンケート結果では、多くの企業でカーボンニュートラルに取り組む重要性は感じているものの、技術面や資金面の懸念に加え、情報不足や知識・経験を有する社員が不足し

ている、また、そもそもカーボンニュートラルに取り組みにあたり「何をすべきかわからない」など、大企業と中堅・中小企業には意識の差があり、課題が浮き彫りになっております。協議会では、様々な関係者を巻き込みながらロードマップが公表されておりますが、大手企業のみならず中小企業のカーボンニュートラルを促進しない限り、四国中央市全体ではカーボンニュートラルは実現できません。

そこで、今年度、地域ぐるみで脱炭素経営を普及・浸透させるため、四国中央市カーボンニュートラル協議会が中心となり、四国中央市、四国中央商工会議所をはじめとする経済団体、そして普段から地域の中小企業との接点を持つ地域金融機関が連携し、「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」がスタートしております。

この「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」は、環境省の支援事業であり全国で16団体が採択を受けております。9月21日には一般企業30社も出席して、今年度第1回目の会議が開催され、私ども川之江信用金庫も地元金融機関として支援企業の立場で会議に参加しております。

今、信用金庫業界では全国254信用金庫と信金中央金庫が連携した「しんきんグリーンプロジェクト」が展開されており「中小企業の脱炭素化」にむけた取組みを強化しております。地元での当金庫の役割としては、まず、中小企業の皆さんへ脱炭素経営に関する意識を持ってもらうことやCO₂排出量の見える化支援を推進していくことと考えております。

* カーボンニュートラルとは…二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスの「排出量」を削減するとともに、森林などによる「吸収量」を差し引くことで、温室効果ガスを実質的にゼロにする取り組みです。近年、グローバルに展開している企業を中心に、脱炭素経営に向けた取組が急速に広がっています。我が国においても、温室効果ガスの排出を2050年までに実質ゼロ、いわゆる「カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を目指すことを宣言しています。

* 脱炭素とは…二酸化炭素(CO₂)排出量をゼロにすることです。実質的に二酸化炭素の排出量がゼロになった社会は「脱炭素社会」と呼ばれています。

第3017回 例会記録 R. 6. 1. 16

出席報告

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 出席会員 (47名中) | 36名 |
| 2. 当日出席率 | 76. 60% |
| 3. 前々回補足修正率 | 93. 62% |

出席表彰 (1月)

- ・佐々木敬史 会員 (31年)
- ・鈴木 宣弘 会員 (30年)
- ・坂 宗尚 会員 (28年)
- ・寺井隆仁郎 会員 (28年)
- ・山川浩一郎 会員 (26年)
- ・大西 宣弘 会員 (24年)
- ・大西 聖和 会員 (23年)
- ・尾藤 淳一 会員 (20年)
- ・石川 隆文 会員 (17年)

会長の時間

- ・能登半島地震が起こって

委員長の時間

- ・「友」1月号要点紹介
雑誌委員長 田辺 龍夫 会員
- ・職場訪問例会のご案内
職業奉仕委員 寺井隆仁郎 会員
- ・IM開催のご案内 石村 榮一 幹事
- ・出席報告 出席委員長 石川 隆文 会員

会務報告

1. 例会変更のお知らせ
【新居浜南RC】
 - ① 2月13日 (火) 夕刻例会
 - ② 2月20日 (火) 夕刻例会リーガ新居浜にてメーカーシップの受付をしております。(事前連絡必要)
2. ザ・ロータリアン 2024年1月号
3. 四国中央ユネスコ協会
「ブータン山の教室」上映会
4. 2024年1月・2月 近隣クラブ例会のお知らせ (出席委員会)

12月12日開催定例理事会報告

- ① 宇高尊己会員の退会について
→ 12月末で退会、承認

ニコニコニュース

尾 藤…先週楽しい新年会になりました。お手配頂きました親睦委員会・事務局 高橋さんありがとうございました。本日より概ね一ヶ月ぶりでホームグラウンドでの例会です。気を引き締めてまいります。

石川晋…本日卓話を担当します。前回とは違う iPad と新しい接続コードで、Wi-Fi の無い環境の下、携帯電話のデザリングを使って、日歯 TV に接続します。リベンジ上手くいきますように！

石川豊…①先程、弊社設置の防犯カメラのデータを愛媛県警が持って帰りました。犯人が早く捕まりますように。
②又、今日、弊社外部に設置の A E D を実際 (心肺停止) の方に使いました。本人の無事を祈るばかりです。今年は色々な事が起こりますネ。いろいろな形で社会奉仕をしていきたいと思えます。

石村浩…① R I ステファニー・アーチック会長エレクト、2024-25 年度会長テーマは「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary) です。魔法の杖ではなく、ロータリー活動 (会員増強・奉仕活動など) による影響力を広める様です。

②今週末の 20 日、四国中央ユネスコ協会主催「1本の映画から世界を知る」映画祭が開催されます。『ブータン山の教室』グローバル化が進み、世界の景色が単一化するいま、この作品は私たちに“本当の豊かさとは何か”を教えてくれる…そうです。チケットは完売しましたがお知らせまで。

谷 …この度は次男の結婚に際し、お祝いを頂き誠にありがとうございました。

山 川…クリスマス会の写真ありがとうございます。

宮 内…新年になって、この例会場でのスタートです。何かと騒がしい始まりですが、1年宜しく願います。

卓 話(職業奉仕委員会 担当)

「(11/7のリベンジ) 日歯TV」

石川 晋 会員

— 近隣RCの例会日 —

1月25日(木)新居浜RC

(リーガ新居浜)

1月25日(木)観音寺RC

(観音寺商工会議所)

1月26日(金)伊予三島RC

(三島商工会館)

1月30日(火)観音寺東RC

(亀の井ホテル観音寺)

1月30日(火)新居浜南RC

(休会)

メーカーの受付はありません。

— 例会プログラム —

1月30日(火)

(国際奉仕委員会 担当)

定例理事会